

岐阜県立中津高等学校

学 校 長 今井 一三
学 校 住 所 岐阜県中津川市中津川1088-2 電話 0573-66-1361

- 1 会議の名称 岐阜県立中津高等学校学校評議員会 (第1回)
- 2 会議の構成
- | | | |
|-------|-------|----------------------------------|
| 委 員 | 小椋 武志 | 元全日制PTA会長 |
| | 佐藤 和男 | 前定時制同窓会長 |
| | 須栗 大 | 中京学院大学(教授) |
| | 船戸 朝子 | 元公立幼稚園園長 |
| | 吉村あづさ | 地域代表 (当日はご欠席。後日來校)
(委員名は五十音順) |
| 学 校 側 | 今井 一三 | 校長 |
| | 栗谷本典彦 | 事務部長 |
| | 岩木 隆義 | 副校長 |
| | 吉田 浩之 | 教頭 (司会・記録) |
| | 可知 嘉文 | 全日制教務主任 |
| | 山田 政春 | 定時制教務主任 |
| | 小栗 和成 | 全日制生徒指導主事 |
| | 西尾 靖彦 | 定時制生徒指導主事 |
| | 小栗 毅石 | 全日制進路指導主事 |
- 3 会議の目的 学校運営等について、地域の有識者から幅広く意見を聞き、地域社会からの要望と協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進する。
- 4 会議の開催 平成30年7月2日(火) 14:00~16:00 中津高等学校小会議室
委員4人と学校側9人が出席
- 5 会議の概要

(1) テーマ 本校の教育活動について

- 意見1 教員の働き方改革という問題解消のためにも、地域の力を活用する等、現在ない部活動を行う計画やその予算に関して何か問題はるか。
- 回答1 本校は、教員の数に対して部活動が多いため、顧問の兼任が顕在化している。しかし、安全面や教員数、及び専門性を考慮するとこの状態は解消すべきと考え、現在は部活動の精選に取り組んでいる状況である。また、外部講師に関しては、県の予算を活用して校外の専門部活動講師も雇用しているが予算枠の関係で限界に来ている。社会人講師に関しても検討しているが、教育面を考えると難しい状況にある。尚、他校にはあまりない部活動としてはウエイト部や水泳部などがあり、部員数にもよるが、本校の特色の一つとして継続していく方向で考えている。
- 意見2 授業は、今日のように誰でも見ることが出来るか。
- 回答2 本校は、地域に開かれた学校を目指しており、特定の日を除いて、原則全クラスを全教員、及び地域の方々に授業公開しています。したがって、事務部を通していただければいつ来ていただいてもご覧になれます。またその際は、是非様々なご意見をいただきたいと思っております。これは、以下の3つの目的があります。第1は、本校教員の教授能力の向上を図ること。第2は、地域の学校として生徒に自覚を促すこと。第3は、教員が他教科で自

教科のヒントを得るなどのコラボレーション効果を得ることです。これらを通して、これからの新しい教育に対応していきたいと考え実施しております。

意見3 新入試への対応は、何か実施していますか。

回答3 新入試でのポイントは2つと考えている。1つめは、eポートフォリオに対応すること。2つめが表現力の育成です。eポートフォリオは、生徒個人の学習活動等様々な経験を示すものです。入試における活用度は未知数だが、本校では、総合的な学習の時間やLHR活動、さらに校外学習を積極的に活用したキャリア教育で対応していく予定であり、現一年次生からスタートさせています。又、表現力に関しても、eポートフォリオを作成しながら、将来の自分への思いを馳せ、夢の実現について語る弁論大会でそれを昇華させることで、達成したいと考えています。

意見4 中津高校の授業を見させてもらって思うのは、本当に楽しそうにやっていることである。授業目標とその他にどのような活動を行っているのか。

回答4 授業目標の一つに、「生徒がわかる授業を行う」を設定し、生徒目線の授業を行うことを全教員が共通認識してやっている。ここでは、生徒の毎日の体調など日々の様子観察により、日々調整しながら授業を行うようにしている。また、全校生徒が加入しているCCC部活動では、馬籠で外国人相手の英語ガイドや中学生に対する授業等、地域貢献活動を行っている。

(2) テーマ SNSなどのトラブルについて

意見5 最近は、SNSなどによって友人間で問題が生じているが、どのように対応しているのか。

回答5 生徒指導では、自己と他者の命を大切にすることを念頭に置いて指導している。具体的には、登校時から学校生活全般で温かい声かけ運動を実施している。また、弁論大会への取り組みによって自らの生き方を考えさせるなど、学校活動全てで、相手に思いやりを持ちながら、自己理解や他者理解をベースにコミュニケーションを取ることを伝えている。

6 会議のまとめ

中津高校では地域に貢献し、地域を中心になって支える人材を育てることを教育の一つの柱と考え懇切丁寧に行っていることがわかりました。新しい教育が始まりますが、中津高校に期待しています。